

ふくおか
ゼロカーボン
シティ

福津市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)

令和5年3月

福津市
環境部

3 市民・事業者による取組チェックシート

2050(令和 32)年のゼロカーボンシティの実現に向けては市民・事業者の協力が必要不可欠であることから、以下のように各主体の取組をわかりやすく整理しました。

(1) 市民による取組

区分	チェック	市民の取組
住宅 設備	☐	防災時にも活用できる太陽光発電設備を積極的に導入します。
	☐	新築やリフォームの際には、なるべく ZEH 住宅を選択します。
	☐	機器の購入時はランニングコストも意識し、なるべく省エネルギー製品を選択します。
	☐	再生可能エネルギー由来電気の活用に努めます。
	☐	車の購入時は災害時に蓄電池として活用できる電気自動車などを選択します。
行動	☐	脱炭素につながる「デコ活アクション★」を実践します。
	☐	電力やガスの使用量を把握(見える化)します。
	☐	楽しみながらできるワークショップや環境イベントなどに参加します。
	☐	運転する時は、エコドライブ★に努めます。
	☐	外出時はなるべく公共交通、自転車などを利用します。
	☐	生ごみ処理機を活用するなど、ごみの減量化に取り組みます。
	☐	3キリ運動(食べキリ・使いキリ、水キリ)を実践します。
	☐	食べきれぬ分だけを購入し、食事は食べ残しを減らすなど食品ロスを削減します。
	☐	外出時はマイボトルを持参し、プラスチック類の使用を抑制します。
	☐	脱炭素に取り組んでいる事業者を応援します。

(2) 事業者による取組

区分	チェック	事業者の取組
建物 設備	☐	災害時にも活用できる太陽光発電を積極的に導入します。
	☐	再生可能エネルギー由来電気の活用に努めます。
	☐	新築やリフォームの際には、なるべく ZEB 建築物を選択します。
	☐	省エネルギー性能の高い製品を開発・製造し、広く周知します。
	☐	社用車は、なるべく電気自動車などゼロエミッション車にします。
事業 活動	☐	脱炭素経営の実践に向けて、具体的な取組を推進します。
	☐	脱炭素に関する情報収集のため脱炭素経営セミナーなどに積極的に参加します。
	☐	省エネルギー診断の受診をするなど脱炭素対策を積極的に検討します。
	☐	年間 1%以上を目安にエネルギー消費原単位の低減に努めます。
	☐	電力やガスの使用量を把握(見える化)します。
	☐	運転する時は、エコドライブに努めます。
	☐	レジ袋やストローなどの使い捨てプラスチック製品の使用及び提供削減に努めます。
	☐	てまえどりなど食品ロスの削減を呼びかけます。
	☐	食品廃棄物のたい肥化など有効利用を検討します。
	☐	地域の関係者と連携して豊かな海を守るための藻場の保全活動などに参加します。

(5) 資源循環(循環型社会の形成)

① ごみの減量化に向けた啓発

■ 福津市の広報紙や公式LINEなどを活用したごみの減量化の普及啓発

- ▶ 広報紙の特集号としてごみの減量化に関する周知や公式 LINE などを活用してごみの分別方法の周知など、ごみの減量化に向けた啓発を強化します。

■ 4R 運動・3 キリ運動(食べキリ・使いキリ・水キリ)の普及啓発

- ▶ 3 キリ運動や4R 運動についてイベントなどにより、市民・事業者に対して啓発します。
- ▶ マイバグの持参を呼び掛け、レジ袋を減らすことで、ごみの削減を推進します。

4Rとは

排出されるごみをゼロにすることは難しいかもしれませんが、減らすために「4R=リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル」の実践が重要です。

① リフューズ(Refuse:発生抑制)

必要以上にものを買わないなど、ごみとなりそうなものは家庭に持ち込まない。

② リデュース(Reduce:排出抑制)

購入量や使用量を減らす、または長期間に使用できるものを選ぶ。

③ リユース(Reuse:再使用)

一度使用したものはすぐに捨てて新しいものを使用するのではなく繰り返し使用する。

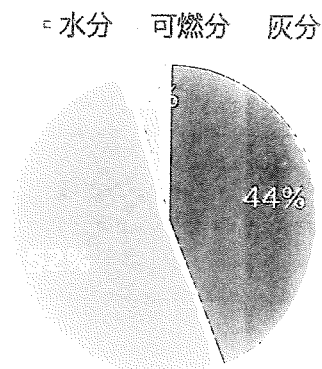
④ リサイクル(Recycle:再資源化)

なるべく資源として再利用するために、ごみを適切に分別する。

そのひと手間の水切りが大切

本市のごみは半分近くが水分という結果です。水分が多いと焼却の妨げになり、清掃工場で焼却する際に余分なエネルギーが必要となります。また、水分があると重くなり、収集運搬する際に余分なエネルギーが必要となります。

そのため、野菜の切りくずなどはできるだけ水に濡らさずに捨てたり、水分を含んだ生ごみなどを出す際には、ネットなどに入れて「最後のひと絞り」の水キリが効果的です。



令和5年度 ごみの3成分

(出典:環境省 一般廃棄物処理実態調査)